

今だから
漱石 姜尚中×山藤章二「近代化は人を幸せにしない」

週刊朝日

「30年に一度の大相場」

最古参証券マンの投資戦略

新安保法制

南シナ海に
最悪の火種

認知症リスク下げる
老人性難聴の治療

6・19

380円

工藤阿須加

小泉純一郎氏動く
「原発ゼロ
あきらめるな」



警戒と 政権批判95分講演録

小泉純一郎氏 めでとはいいけない

小泉氏は川内原発のある鹿児島の地で6月4日、あって講演をする意味をこう説明した。

「地元で（再稼働）推進論者もいっぱいいるから私が『原発ゼロ』を主張すると、『まずいかな』と思つたけれど、原発は一度、事故を起こしたら取り返しのつかない問題ですから。再稼働が迫つてている地域。皆さんにもっと気がついてほしいことがたくさんある」

その朝、鹿児島空港に到着した小泉氏は鹿児島市内の移動の車中、同乗した野元一喜氏に上機嫌でこう話した。
「鹿児島はおやじのふるさとだから」

父、純也元防衛庁長官は鹿児島県南さつま市（旧加世田市）出身で、先祖の墓もあるという。

今夏、再稼働が予定される川内原発がある鹿児島県では、口永良部島、桜島の噴火など不穏な火山活動が続く。「地震・火山国の中は原発をやつてはいけない」——。現地に乗り込んだ小泉純一郎元首相（73）が吠えた。安倍官邸が最も警戒する男の95分の独演会を徹底ルポする。

「車中で小泉さんは『おやじが乾燥させたかつお節をかんなで削つて、焼酎のつまみにしてよく飲んでいたんだよね』となつかしそうに話していました」（野元氏）
市内で行われた講演「日本歩むべき道」には90人以上が詰めかけ、「原発ゼロ」を安倍政権に突きつける小泉節が炸裂した。拍手喝采が会場で起つたのは、次の言葉だった。
「御嶽山、口永良部島の噴火は想定外。九州には桜島、阿蘇もある。地震もこの10年間、マグニチュード7前後の地震が5回も起き、その後の度に原発がストップした。まず2005年、宮城県沖地震。07年、能登半島の地震。同じ時期の新潟中越地震。09年、駿河湾地震、そして11年、東日本大震災。地震国・日本、そして火山

経産省が「報じさせるな」
原発ゼロ、

歴代首相の会で直言するも
「安倍首相は笑って聞いていただけ」

「進次郎は私の原発発言を読んでいる。
自分で発言すればいい」

原発ゼロをめざす

もいつ爆発するのかわから
ない。日本は、原発をやつ
てはいけない国だ」

講演前、小泉氏はお忍び
で京セラの子会社が鹿児島
市七ツ島で運営する東京ド
ーム27個分という巨大なメ
ガソーラー施設を視察した。
報道陣シャットアウトのた
め、施設ゲートには「臨時
休館」の貼り紙。

到着後、車を降りた小泉
氏（写真）は、真っ青な海
を指さし、こう話した。

「自然エネルギーをどんど
ん増やしていくば、もう原
発なんていらないんだよ」

原発事故が起きれば、國
民の生命、財産に影響が及
ぶが、安倍政権は國民の生
命、財産を守るために、と集
団的自衛権の行使を含む安
全保障法制を推進しようと
している。

「原発ゼロ」よりも「安保
法制」を優先する安倍晋三
首相の姿勢について小泉氏
はこう語った。

「首相になつてみると何を
優先するのかが大事なので
す。それを考慮すると、首相

を辞めた者が現職に『優先
順位が違うから優先順位を
変える』と言うのはおこが
ましい。私は安倍首相が考
えをえてくれればいいな
と。原発ゼロの社会は確
実に日本を発展させる。しか
も世界が日本を手本にする
いい機会だと思つていて
ら言つています。ただ、首
相があそこまで言つている
以上、政策を変えるのは難
しいかな。まだまだ時間が
あると思つてやっていくし
かな」

そして小泉氏は原発のテ
ロ対策が不十分であること
にもこう言及した。

「みな、口に出さないけれ
ども、原発はテロに一番弱
い。しかし、対策をやり始
めたら、莫大な力がかかる
ことともわかっている。一
電力会社では無理だから、
はつきりと言えないだけで
す。もし、そこ（原発）を
狙われたら、大変ですよ」

今回の講演会を主催し、
東京から小泉氏に随行した
城南信用金庫の吉原毅理事
長はこう話す。

右から、6月4日、鹿児島市内で講演する小泉氏（円内は城南信用金庫の吉原理事長）。進次郎氏は父の言動
に何を思うのか。メガソーラー施設を視察した小泉氏御一行。火山噴火と地震が相次ぐ中、再稼働に備える伊
方原発とその周辺（上下）。歴代首相の懇談会で「原発ゼロ」を小泉氏に直言された安倍首相と麻生財務相

「原発ゼロにしないべきだ」と。安倍首相は笑いながら聞いていました。追及するという感じではないんですけど……」

そしてこう苦言を呈した。「安倍首相があそこまで原発にのめり込んでいる理由は首相にしかわからない。要は首相が決断すれば、原発ゼロでやっていける状況なのに、それを発言できないのは実にもつたいないな」と。こんな歴史的な役割を果たせる状況は滅多にないと思う。それを生かしてもらいたいと思うけど、これは首相の判断なので。それを推し量るのは難しいが、やればできる状況なのに生かさないのは残念だ」

安倍政権は小泉氏の助言に反発するかのように原発回帰へ舵を切った。

5月末に固まつた「電源構成(エネルギーミックス)案」は30年度の電気をどうまかなうかを示したものだが、この中で原発の割合が20～22%と規定されたのだが、グラフ。現在、一基も

言いました。「原発ゼロに
するべきだ」と。安倍首相
は笑いながら聞いていまし
た。追及するという感じで
はないんですけど……」
そしてこう苦言を呈した

動いていない原発を動かさなければ達成できない数字に自民党内でも反発が広がる。

方向に行っています。原発を維持したいために自然エネルギーが拡大していくのを防ぐという意図しか感じられませんね」

う。それをやろうとしたら、税金の無駄遣いですね。こういうことを押し切ろうとしたら、いずれ国民にわか

じやないですか。もう2年近く、原発ゼロでやっていけている。停電ひとつ起さない。福島の原発事故が起ころる前から、脱原発運動をしていた人の本を読んで

動いていない原発を動かさなければ達成できない数字に自民党内でも反発が広がる。

自民党で脱原発を掲げる秋本真利衆院議員が話す。

「政府が掲げた数字をたたき出そうとすると、国内にある全43基の原発のうち、38～39基を動かさなければならぬ」という

方向に行っています。原発を維持したいために自然エネルギーが拡大していくのを防ぐという意図しか感じられませんね」

運転開始から40年前後が経ち、老朽化した若狭湾の原発の使用期限を延ばそうとする審査も行われている。小泉氏は現状にこう憤った。

「原発寿命を延ばす対策をしたら、莫大なお金がかかること思います。それで政府

う。それをやろうとしたら、税金の無駄遣いですね。こういうこととを押し切るうとしたら、いずれ国民にわかれます。そして国民が判断をするのではないですか。民主主義というのは、最後は国民の意思で決まります」

川内原発の再稼働を控え脱原発の国民運動に手詰まり感があるのでないかと問つてしまふ良氏はこう「既

じやないですか。もう2年近く、原発ゼロでやっている。停電ひとつ起きてはいけない。福島の原発事故が起ころる前から、脱原発運動をしていました人の本を読んでみたのですが、そういう人たちの活動を見習わないといけないと思います」

らいたいと思うけど、これは首相の判断なので。それを推し量るのは難しいが、やればできる状況なのに生かさないのは残念だ」

安倍政権は小泉氏の助言に反発するかのように原発回帰へ舵を切った。5月末に固まつた「電源構成(エネルギー・ミックス)案」は30年度の電気をどうまかなくうかを示したものだが、この中で原発の割合が20～22%と規定されたのだが、グラフ。(現在、一基も

日本沈没の危機

地震学者らが警告「活断層近くにある伊方、川内、浜岡の再稼働は危ない」

近、小松左京のS

起こした。

ここ最近、小松左京のS F 小説『日本沈没』を彷彿とさせる地震、火山噴火が頻発している。5月下旬から6月上旬にかけて茨城県と北海道で震度5弱を記録。箱根山にある大涌谷で蒸気の噴き出しが続く中、5月29日には鹿児島県の口永良部島も爆発的噴火を突如、

起^きこした。
連動^{れんどう}す。

るよう、翌30日に
ナユード(M)8.
地震が列島を襲つ
史上初めて全国47
を記録。震源が
島西方沖 682キロ
ため、大きな被
かつたが、揺れの

震学者「島村英矩」「東日本大震災の地下動かみ」「火山や大地震の関係について」で5・

で武蔵野学院大学の紀特任教授が言う。本大震災が日本列島にある基盤岩を大きくしてしまったのが、地震活動の活発化にしている可能性が高い震では牡鹿半島近く3トメ、関東地方で30

（40セント）
サンボドウ
その子
地震や
与える
震予知
尾年恭
「地震
ことには
騰寸前

木曽御嶽で20～30度の地盤が一気に動いた。変動が今後数年間で火山に様々な影響を及ぼすという。東海大学地質学研究センター長の長氏も同様の意見だ。例えれば、いまは沸かすを鍋でお湯を沸かす。

近、小松左京の『日本沈没』を彷彿
地震、火山噴火が

起こした。
運動するよう翌30日に
はマグニチュード(M)8.

大きさに衝撃が走った。地震学者で武藏野学院大学の島村英紀特任教授が言う。

40

木曾御嶽で20～30

るため、どこか1カ所が大きくなると周囲に影響する。

いつどこで地震や火山噴火が起きてもおかしくない

日本列島が地震の活動期に入つたといえそうだ。長尾氏はさらに予想する。

「20世紀の高度経済成長期には幸運にも劇的に地震や火山噴火が少なかつた。これから50年くらいは各地で頻繁に起きるだろう」

そんな危険な状態の中でも安倍政権は肅々と原発再稼働へ向けた準備を進めている。川内（鹿児島）、高浜（福井）原発に続き、5月20日には伊方原発3号機を与えた。四国電力の社員（愛媛）に事実上の合格証

西日本が水没するストーリーだが、地震活動が活発化する中で再稼働した原発を避けられない。放射性物質が放出されれば、風向きによつては首都圏にまで達することになる。

建築研究所特別客員研究員の都司嘉宣氏が解説する。

「地震学者として最も動かしてほしくないのは、東海地震の想定震源域の中心にあり、津波にも弱い地形に立つ浜岡原発。2番目が伊

がこう意気込む。

「先日、うちの役員クラスが、『再稼働を急いでほしい』と政府筋から言われたと聞いた。口永良部島など

噴火の影響で川内がスムーズにいかなくなる可能性があり、うちが一番最初にや

れば、大手柄になる」

だが、伊方、川内原発とともに巨大地震のリスクが潜んでいる。二つの原発の近くを日本最大の断層、中央構造線が通っているためだ。

冒頭の小説『日本沈没』は、この中央構造線が千切れ

くを日本最大の断層、中央構造線を震源とするM7・7の巨大地震があつたことがわかつてきた。そのちょうど

真ん中あたりに原発が位置する。中央構造線を震源とする地震が起きれば、伊方原発を10倍を超える大津波が直撃する恐れがあります」

前回の地震から約400年が経つているため、次の大地震がいつ起きてもおかしくないという。活断層の真上近くに原発があるのに

もかかわらず、伊方原発はしくない。活断層の真上近くに原発があるのに

巨大地震が襲えば大惨事は避けられない。放射性物質

が放出されれば、風向きによつては首都圏にまで達することになる。

建設研究会特別客員研究員の都司嘉宣氏が解説する。

「地震学者として最も動かしてほしくないのは、東海

地震の想定震源域の中心に

あり、津波にも弱い地形に

立つ浜岡原発。2番目が伊

方原発です。伊方の場合、北

にわずか数キロほどの海中に

中央構造線が東西に走って

います。これまで活動はし

ていないと思われています

が、2000年代になり

1596年に四国西部から

九州東部にかけて中央構造

線を震源とするM7・7の

巨大地震があつたことがわ

かつてきた。そのちょうど

真ん中あたりに原発が位置

する。中央構造線を震源と

する地震が起きれば、伊方

原発を10倍を超える大津波が直撃する恐れがあります」

電に評価を求める長さ480キロの断層が連動して動いたら、どのくらいの規模の揺れになるのか想像もでき

ません。安全性を確保する

0.4メートルを記録し

ました。安全性を確保する

なら、原子炉を建て替える

しか手はありません」

世界最高水準の安全基準な

どと呼べるのか

る伊方原発だが、再稼働へ向けて準備は抜かりがない。

別の四電社員が打ち明ける。

「3号機の再稼働に向け、

現場ではさまざま

ドで作業が進んでいる。朝

6時ごろから門のところで

トラック、バスが行列をつ

くっています。周囲の道路

もあちこちで渋滞してます

伊方町は再稼働に向か

ってほしい」（阿部吉清さん）

ただ、地元紙が2～3月に行つた世論調査では7割の住民が再稼働に否定的。



「四電の戸別訪問は再稼働はまわってこない。あるとき、反対派の人がうちに来てくれって言つたら、だまつて逃げるよう立ち去つた。反対と言わない人ばかり訪ねては、理解が得られ

「四電の戸別訪問は再稼働に反対だと言つている人に反対派の人がうちに来てくれって言つたら、だまつて逃げるよう立ち去つた。反対と言わない人ばかり訪ねては、理解が得られ

ると国や県へ報告している
元住民）
立地周辺の住民からは、
再稼働に対する複雑な心境
も聞こえてくる。

「事故が起きたら危険な原
発には反対。町には再稼働

国が言う以上に、避難路の確保、地震、津波対策を求める

中村時広 愛媛県知事

伊方原発の再稼働が話題になっていますが、国からの話はまったくない。再稼働へのプロセスというの、首相なり、しかるべき方のお話を聞いて、県民に論議をしてもらおうという手順が不可欠です。

6月2日に原子力規制委員会、宮沢洋一経産相にも会いました。鹿児島の火山噴火、川内原発がある中、いろいろ伺いましたが、私が言いま

たいのは、（再稼働の）要請がまだ来ていない以上、すべて白紙です。伊方原発は例え道がまったくだめ。いま、工事をしていますが、車1台しか通れない幅で、まったく不十分であるのは誰の目にも明ら

かです。山を削って平地に

した所に原発を造った。万が

一の場合、福島のような汚染

水タンクを置ける平地がない。

事故があつてからでは遅いの

で、今から四国電力に申し入ることを考えている。愛媛

県は他にも独自で四国電力に

対し、安全対策の追加要請を

しています。まず、香川県高

い土地のために、いつた
ん事故が起きたら住民が逃
げ場を失う可能性が指摘さ
れている。県や町の避難計
画では、住民を原発からお
よそ20キロ離れた三崎港に集
め、そこから船で九州など
へ運ぶ。ところが津波が來
たら港は使い物にならない。
その場合、反対側の山へ逃
げることになるが、現地を
歩くと、至るところに「土
石流」や「崩壊危険区域」
の表示があつた。

しかも「台風がくれば落

石や倒木で道がふさがれる

ことはよくある」（地元の
道路管理者）。

原発から西へ向かうわず
かな避難道路さえリスクを
抱えているのだ。伊方町も

複合災害への備えが十分で
ないことは認めていて、「想

すらできない状況です。

聞き手 今西憲之

伊方原発は、中央構造線
を徹底し、非常用電源の予備
も確保してほしいなど、さまざま
な要請をしています。そ
してすべての報告はまず、県
にするように四国電力に要請
し、マスコミ発表は県がする
体制を築いています。もし破
られれば、県と四国電力の関
係は破綻します。永田町では
安倍政権が再稼働に前向きな
ので、早く再稼働させること
が電力会社、地元の政治家の
手柄のようになつていて、い
う話も聞きます。しかし特定
の政治家が何を言つてもブレ
ません。今は県民に間うこと

定パターンが多いため、屋
内退避も含めて検討中」（危
機管理室）という。

さらに屋内退避の場合に
使われる公民館や老人介護
施設などでは、放射性物質
を室内に取り込まないフィ
ルター装置の導入を進め
ている。だが、システムを動
かす燃料は3日しか持たず、
その後は自衛隊などの救助
を待つしかない。

松山地裁で係争中の伊方
原発運転差し止め訴訟の原
告を務める齊間淳子さんは、
こうした状況に怒る。

「佐田岬半島の人たちは、
原発で事故が起きたらもう
逃げられないと諦めている。
国は安全な原発は再稼働す
るというが、伊方はぜんぜ
ん安全ではありません。本
当に国民に安心してもらいた
いなら、こんなに危険な
原発は止めろと言いたい」

伊方原発の再稼働までに
決定が出るよう、同弁護団
は裁判所に早期結審を求め
ているところだ。

桐島 瞬、今西憲之／本誌
小泉耕平

反対派も多い。でも原発が
止まってからは商店街から
客足が遠のき、シャッター
通りになってしまったのも
事実です」（伊方町に隣接
する八幡浜市の中心部で商
店を営む竹村良枝さん）

そして原発が再稼働した
場合、住民が最も不安に感
じるのは事故が起きた際の
避難計画だ。

伊方原発は、中央構造線
沿いに長さ40キロ突き出た佐
田岬半島の付け根にある。
その西側に住む住民は約5
200人。だが、細長くて

狭い土地のために、いつた
ん事故が起きたら住民が逃
げ場を失う可能性が指摘さ
れている。県や町の避難計
画では、住民を原発からお
よそ20キロ離れた三崎港に集
め、そこから船で九州など
へ運ぶ。ところが津波が來
たら港は使い物にならない。
その場合、反対側の山へ逃
げることになるが、現地を
歩くと、至るところに「土
石流」や「崩壊危険区域」
の表示があつた。

しかも「台風がくれば落

石や倒木で道がふさがれる

ことはよくある」（地元の
道路管理者）。

原発から西へ向かうわず
かな避難道路さえリスクを
抱えているのだ。伊方町も

複合災害への備えが十分で
ないことは認めていて、「想

すらできない状況です。

聞き手 今西憲之

伊方原発は、中央構造線
を徹底し、非常用電源の予備
も確保してほしいなど、さまざま
な要請をしています。そ
してすべての報告はまず、県
にするように四国電力に要請
し、マスコミ発表は県がする
体制を築いています。もし破
られれば、県と四国電力の関
係は破綻します。永田町では
安倍政権が再稼働に前向きな
ので、早く再稼働させること
が電力会社、地元の政治家の
手柄のようになつていて、い
う話も聞きます。しかし特定
の政治家が何を言つてもブレ
ません。今は県民に間うこと

定パターンが多いため、屋
内退避も含めて検討中」（危
機管理室）という。

さらに屋内退避の場合に
使われる公民館や老人介護
施設などでは、放射性物質
を室内に取り込まないフィ
ルター装置の導入を進め
ている。だが、システムを動
かす燃料は3日しか持たず、
その後は自衛隊などの救助
を待つしかない。

松山地裁で係争中の伊方
原発運転差し止め訴訟の原
告を務める齊間淳子さんは、
こうした状況に怒る。

「佐田岬半島の人たちは、
原発で事故が起きたらもう
逃げられないと諦めている。
国は安全な原発は再稼働す
るというが、伊方はぜんぜ
ん安全ではありません。本
当に国民に安心してもらいた
いなら、こんなに危険な
原発は止めろと言いたい」

伊方原発の再稼働までに
決定が出るよう、同弁護団
は裁判所に早期結審を求め
ているところだ。

桐島 瞬、今西憲之／本誌
小泉耕平

反対派も多い。でも原発が
止まってからは商店街から
客足が遠のき、シャッター
通りになってしまったのも
事実です」（伊方町に隣接
する八幡浜市の中心部で商
店を営む竹村良枝さん）

そして原発が再稼働した
場合、住民が最も不安に感
じるのは事故が起きた際の
避難計画だ。

伊方原発は、中央構造線
沿いに長さ40キロ突き出た佐
田岬半島の付け根にある。
その西側に住む住民は約5
200人。だが、細長くて

狭い土地のために、いつた
ん事故が起きたら住民が逃
げ場を失う可能性が指摘さ
れている。県や町の避難計
画では、住民を原発からお
よそ20キロ離れた三崎港に集
め、そこから船で九州など
へ運ぶ。ところが津波が來
たら港は使い物にならない。
その場合、反対側の山へ逃
げることになるが、現地を
歩くと、至るところに「土
石流」や「崩壊危険区域」
の表示があつた。

しかも「台風がくれば落

石や倒木で道がふさがれる

ことはよくある」（地元の
道路管理者）。

原発から西へ向かうわず
かな避難道路さえリスクを
抱えているのだ。伊方町も

複合災害への備えが十分で
ないことは認めていて、「想

すらできない状況です。

聞き手 今西憲之

伊方原発は、中央構造線
を徹底し、非常用電源の予備
も確保してほしいなど、さまざま
な要請をしています。そ
してすべての報告はまず、県
にするように四国電力に要請
し、マスコミ発表は県がする
体制を築いています。もし破
られれば、県と四国電力の関
係は破綻します。永田町では
安倍政権が再稼働に前向きな
ので、早く再稼働させること
が電力会社、地元の政治家の
手柄のようになつていて、い
う話も聞きます。しかし特定
の政治家が何を言つてもブレ
ません。今は県民に間うこと

定パターンが多いため、屋
内退避も含めて検討中」（危
機管理室）という。

さらに屋内退避の場合に
使われる公民館や老人介護
施設などでは、放射性物質
を室内に取り込まないフィ
ルター装置の導入を進め
ている。だが、システムを動
かす燃料は3日しか持たず、
その後は自衛隊などの救助
を待つしかない。

松山地裁で係争中の伊方
原発運転差し止め訴訟の原
告を務める齊間淳子さんは、
こうした状況に怒る。

「佐田岬半島の人たちは、
原発で事故が起きたらもう
逃げられないと諦めている。
国は安全な原発は再稼働す
るというが、伊方はぜんぜ
ん安全ではありません。本
当に国民に安心してもらいた
いなら、こんなに危険な
原発は止めろと言いたい」

伊方原発の再稼働までに
決定が出るよう、同弁護団
は裁判所に早期結審を求め
ているところだ。

桐島 瞬、今西憲之／本誌
小泉耕平